

全国高文連将棋新人大会

本県女子2人

健闘光る5位

第33回全国高校文化連盟将棋新人大会の女子個人戦で、幸

福の科学学園高2年中川真穂さん(17)と文星芸大付属高1年永藤凜さん(16)が共に5位入賞と健闘した。高校将棋全国大会の女子個人戦で、本県代表2人の8強入りは快挙だ。

同大会(1月30日～2月1日、長崎市で開催)は、各都道府県の代表90人が出場。2人は予選を3勝1敗とし決勝トーナメントに進んだ。共に予選全勝のシード選手を下して2回戦を突破したが、惜しくも準々決勝で敗れた。昨夏の全国高校総合文化祭(総文祭)にも出場した中川さんは「予選突破止まりだった総文祭の成績を超えられた」と満足げ。苦手を詰め将棋の問題を毎日こなすなど、対策を重ねてきた。「いつもはひらめかないような手がひらめく局面があった。共に寮生活を送る友達の応援が力になった」

初めて全国の舞台に臨んだ永藤さんは「思い切り楽しみたいという気持ちだった」と振

中川さん(科学園2年)、永藤さん(文星芸大1年)



全国高校文化連盟将棋新人大会の女子個人戦で5位となった中川さん(右)と永藤さん

り返る。男子も交えた将棋部員たちと切磋琢磨しながら日々腕を磨いている。「悪い形勢から立て直せた局面があった。これ以上の成績を残せるよう、今後も部活動を頑張りたい」と意気込んだ。

本年度は、総文祭の女子個人戦でも鹿沼高1年斉藤咲弥子さん(16)が5位となった。2009年から文星芸大付属高で将棋部顧問を務める梶川崇教諭(49)は「これほど多く、本県勢の女子が結果を残した年は過去にない。栃木の将棋界がますます盛り上がり、いい」と今後の躍進を期待した。(鈴木祐哉)